

■「情報教育チーム」の研究

(1) 研究の目的

(2) 研究の内容

(3) 今年度の成果と次年度への課題

○ ICT グループ（情報教育チーム）

部 長 榎 林 哲 也 （八丁平 小学校）

副部長 藤 田 雅 裕 （本室蘭 中学校）

 佐 藤 隆 之 （本室蘭 小学校）

■ 情報教育チーム

情報教育チームでは、「第2期室蘭市学力向上基本計画」に位置付けられている、室蘭市教育研究所の取り組みの一つ「ICT活用に係る研究推進」に携わっている。

<めざす児童生徒像3>

情報モラルを身につけ、情報を適切に収集・選択したり、活用したりすることができる児童生徒

(1) 研究の目的

- ・教員のICT活用力の向上
- ・室蘭市内全体の情報教育の促進
- ・児童生徒の情報モラルの高揚、ネットに係わる危険回避の知識の定着

(2) 研究の内容

- ・情報教育に係る研修講座の開催担当
※ 校務支援ソフトの活用等

授業でのICT活用は「授業チーム」が行うので、「情報教育チーム」では校務の効率化を主に考え、教職員用の全PCに入っている「Microsoft Office」の使用法についての講座を行う。校務の効率化により、教材研究の時間や児童生徒とかかわる時間等を生み出し、学力向上はもとより、安定した学校経営をもたらすことを期待している。

Wordは文書作成等に使われており、通常使用するためのスキルはそれぞれに持っているが、Excelは操作のわかりにくさや使用目的が見えにくい等の理由からか使用率はそれほど高くないようである。しかし、校務の効率化を図るうえでExcelは避けて通れない存在であり、操作のためのスキル向上は必要不可欠である。

通常Excelを利用しようとする場合、既存のシートに数値等を打ち込む作業が中心となるが、関数の上に数値を入力してしまうなどのミスが考えられ、このミスを修正しようとしてシート自体を壊してしまう等のトラブルが起きている。

Excelの大まかな仕組みがわかり、自分で関数を入力してシートを作成することができれば、万が一関数を削除してしまっても自分で対応することができるようになり、トラブル解決に費やしていた時間の減少が期待できる。

- ・インターネット利用に関するリーフレットの見直し
※ 小5、中1の児童・生徒・保護者対象
※ 制作・発行者「室蘭市教育委員会」→「室蘭市教育研究所」へ変更

9月に行われた「室蘭市小・中学生 携帯・スマホ等アンケート」において、本市での状況が見えたことから（下記資料参照）、情報教育チームとしては、少なからず起きているトラブルへの対策として、児童生徒の情報モラル向上が、児童生徒が家庭でのルールやフィルタリングの実情を認識していないという現状から、保護者主導のフィルタリングが必要と考えた。

使用時間やフィルタリングの必要性については、「室蘭市 携帯・スマホ三ヶ条」でも扱われているため、情報教育チームのリーフレットでは、トラブルの事例や対処法、家庭でのルール作りについて扱うこととした。

室蘭市 携帯・スマホ三ヶ条

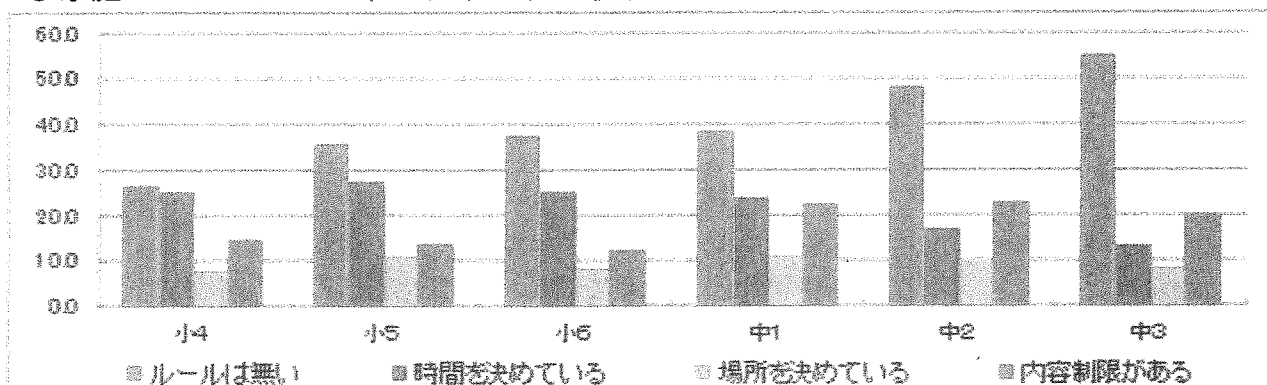
- ① 携帯電話やスマホ等の使用時間は小学生が夜9時、中学生は夜10時までとし、それ以降は自分の部屋に持ち込ませないようにしましょう。
- ② 携帯電話やスマホ等は学校へは持ち込み禁止です。
- ③ 子どもの携帯電話やスマホには必ずフィルタリングをしましょう。

「室蘭市小・中学生 携帯・スマホ等アンケート」より

◎携帯・スマホ等の使用によるトラブルは？

回答内容	全市調査人数に対する割合(%)											
	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小男	中男	小女	中女	小学	中学
トラブルあり	7.2	3.7	3.7	5.4	14.0	7.2	4.4	5.2	5.2	13.1	4.8	8.8
トラブルなし	55.9	70.2	71.0	71.2	70.3	76.1	64.7	74.9	67.1	71.7	65.9	72.5

◎家庭でのルール・フィルタリングの状況は？



フィルタリングを利用していると明確に答えた児童生徒は、小学校で13%、中学校で30%程度であり、不明という回答が多くなっている。

リーフレットは、配布する時期を選び（配布物の多い年度末や年度初めは避ける等）保護者の目に触れやすくすること、手に取って中身を読んでもらえるような体裁や内容を心がけることとした。

同様のリーフレットが各地の自治体等で制作されており、これらの情報を集めることにより、内容の充実を図った。

参考資料

文部科学省 「ちょっと待って！ケータイ&スマホ」

内閣府 「お子様が安全に安心してインターネットを利用するために保護者ができること」

総務省 「インターネットトラブル事例集（平成26年度版）」

北海道教育委員会 「要注意！インターネットの使いすぎ」

京都府教育委員会 「家庭で話そう！」ケータイ&スマホの利用について

高知県教育委員会 「安全に使おう！ケータイ・スマホ」

I P A 情報処理推進機構 「インターネット安全教室」親子で守って安全・安心10か条
みんなで守って安全安心スマホ10か条

鳥取県教育委員会 「正しく使おう！ケータイ・スマホ」

埼玉県消費生活支援センター 「子供のインターネット&スマホ事情」

滋賀県教育委員会 「これだけは知っておこう！スマホを使うあなたへ」

横浜市教育局委員会 『子供の「心」を育てこそ 安心・安全なスマホ・ケータイ！』

子供とネットを考える会 啓発マンガ「はなこさん」

越谷市教育局委員会 啓発マンガ「ネット警備隊 ねっぱとくん」

当初計画されていた、

- ・「室蘭市の小中学校における情報教育を推進するために」（平成19年発行・全249P）
資料冊子の見直し

- ・室蘭市教育研究所ホームページの活用

「ICT活用」ページに授業で活用できるWebリンク集を作成

の2点については、資料冊子がPC導入期～充実期を狙い制作されており、全教職員にPCが行きわたり、日常的に活用されている現在の室蘭市の状況とは違ってきていることから、全面的に見直して発行する必要性は低いと判断した。また、「授業で活用できるWebリンク集」については、同じような目的で作られたリンク集がたくさん存在すること、内容が多岐にわたるためリンク集自体が複雑になりすぎる等の理由から作成を見送った。

（3）今年度の成果と次年度への課題

○リーフレットに関して

現在の室蘭市の状況に合わせ、トラブルの実例や対処法、ルール作りの大切さを紹介するリーフレットを作成することができた。現実的な問題を想定した実用的なリーフレットとなっている。

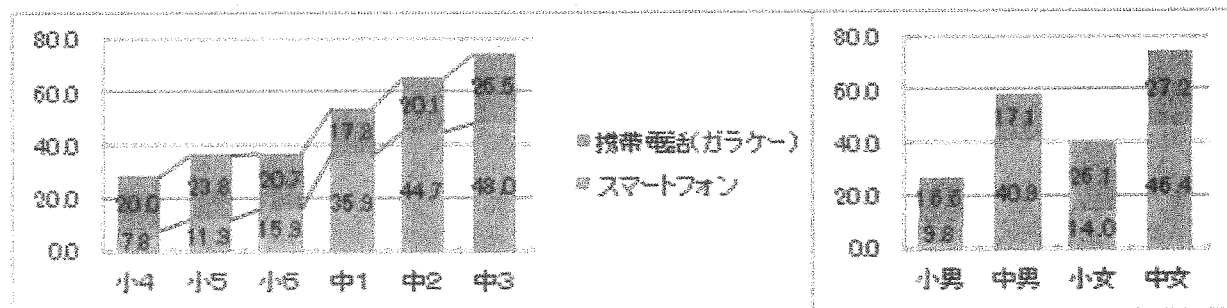
今回集めてみてわかったことだが、ネット上で確認できるだけでも各都道府県、市町村の教育委員会において同様の取り組みが行われ、それぞれにリーフレットが作られている。文部科学省や総務省で作られているものは、情報モラル全般を網羅した形の資料。市町村単位では、

状況に合わせて細かい配慮のされたリーフレットとなっている等の特長が見られた。

独自のリーフレットを作るのも大切だが、既存のリーフレットや資料をまとめ、目的による使用法を考えていくことも必要と考えられる。

「室蘭市小・中学生 携帯・スマホ等アンケート」より

◎所有している機器は？



回答内容	小学	中学
スマートフォン	12.0	42.5
携帯電話(ガラケー)	21.5	21.3
パソコン	6.9	23.4
タブレット端末	8.5	22.1
ゲームプレイヤー	64.2	53.1

インターネット機器の所有率は、小学生74%、中学生84%と高く、特に小学生では3DS等の携帯ゲーム機が主である。これらを持ち始めるのは低学年の時期と考えられ、高学年では「フレンド」でのトラブルが散見される。家庭でのルールが決められていなかったり、フィルタリング（ペアレンタルコントロール）を利用していなかったりする児童が多数見られることから、家庭でのルール作りやフィルタリングに関しての指導や呼びかけを下の学年から行っていく必要がある。買い与えてしまってからルールを作るのでは遅すぎる。

○講座に関して

研修講座のアンケートを見ると、参加者はおおむね満足している。実際にExcelでできることを演習し、体験することにより、Excel活用の幅が広がったと思われる。

次年度も校務の効率化を図る上で欠かすことのできないExcelを扱うのが妥当であると思われるが、対象者のレベルをどの程度に置くかが難しいところである。アンケートの中にも、「内容についていけなかった」等の意見があることから、毎年、基礎的な内容で講座を行うのが良いのか、年々レベルを上げていくのが良いのか、初級編・中級編・上級編と複数の講座を行うのが良いのか判断しかねるところである。

情報教育チームの意見としては、毎年やることを変えるのではなく、初級・中級・上級と講座を用意しておき、同じものを数年続けるのが良いと思う。あれもこれもと詰め込みすぎて時間不足や理解不足になる講座よりは、目的を絞った講座内容が求められている。